

# 県外派遣報告書

(一社)栃木県バスケットボール協会 審判委員会

大会名	全国高等学校バスケットボール選手権大会(ウインターカップ)	開催地	東京体育館 武蔵野の森総合スポーツプラザ
報告者名 (所属連盟)	武井 晋平	派遣期間	令和6年12月23日・25日

割当日:12月23日			
審判員名	武井 晋平	相手審判	GC:山崎昭一氏(東京) U2:和嶋宏典氏(東京)
カード	男子1回戦	九州学院高校(熊本)	対 県立松江東高校(島根)
◇ ミーティングの内容			
・PGCでは、両チームとも同じような身長差のため、特にアウトサイドからのシュートの後のリバウンドへの対応 2点、3点のしっかりとした確認とクルーの協力を行なっていくことを申し合わせた。			
・全体を通しては、大きな取りこぼしも無くスムーズにゲームを進めていたと思うが、後半は決断をして、各々が 笛を入れていたと思う。その決断を、前半のテンポセットの部分で入れているとさらに良かったと思う。			
・ディフェンスだけではなく、オフェンスがシリンダーを犯しているものについても、前半整理できれば良かったのでは ないか。			
・ペイントエリア内の3秒の整理を早めによりゲームがクリーンになる。			

割当日:12月25日			
審判員名	武井 晋平	相手審判	GC:松永航平氏(東京) U2:小宮颯太氏(神奈川)
カード	男子2回戦	県立高岡工芸高校(富山)	対 開志国際高校(新潟①)
◇ ミーティングの内容			
・PGCでは、目の前のプレーを丁寧に判定していくこと、ベーシックなメカニクスの確認、ブロックorチャージでの プライマリの確認、時計、ファウルの数の把握、プレーコーリングについて申し合わせた。			
・ゲームは序盤から力の差が徐々に見え始めた試合となったが、集中し、丁寧に判定していこうと試合に臨んだ。			
・試合後の反省については、力の差が出てきた中で、何を取り上げていくか。ゲームは流れていくが、笛を入れて いっても良いものはまだあったと思う。			
・ショットクロックの把握はどうだったか。TOとのコミュニケーション。			
・プライマリが誰なのかをもう一度振り返ってほしい。プライマリのレフリーがTOコールへ行っていないケースもある。 トランジションの際のリードプライマリでのチャージング等			
・映像でこれはファウルだろうというものがあると思うので、第三者目線でもう一度振り返ってみてほしい。			
・笛の吹き方が、慌てて吹いている様に見える時がある。何度か笛を吹いてゲームを止めているが、一度大きく吹く など、吹き方についてももう一度振り返って欲しい。			
・2回戦の試合を担当し大変貴重な経験となった。1試合を通して見ていただいたことを振り返りを行い、 反省点を克服できるよう次に繋げて行きたい。改善できるところはすぐに改善していきたいと思う。			
IR: 梶 崇司氏			